

きらり★プロの目

私はこうして
電気事故を防いだ！



電気設備は計画的に更新を！！ 表面リークの進行による事故を未然に防止！！

点 検 対 象	事務所	点 検 地 区	松前町
きらりポイント	月次点検時に電気室内にある高圧受電盤内の高圧機器を外観点検するため、扉を開けると異臭がしました。異臭元を調査したところ、高圧真空遮断器※(主遮断装置)の1次側(R相)から表面リーク(漏電)が発生しているのを発見しました。 この高圧真空遮断器は47年間使用しており、更新をお願いしていました。		

※高圧真空遮断器の更新目安:20年

■現場の状況と対策

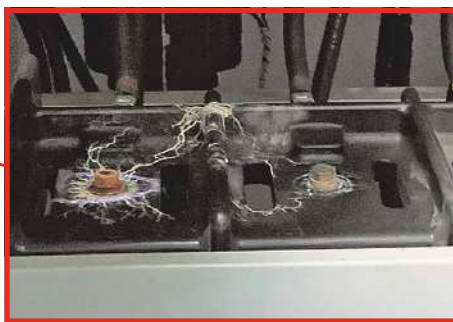
表面リークが進行すると、短絡電流または地絡電流による感電や火災事故に繋がりがねず、大変危険な状態でした。事故防止のための応急処置として高圧真空遮断器(主遮断装置)を取り外して仮復旧作業を実施し、受電した旨をお客さまにご報告しました。

新しい高圧真空遮断器が入荷するまでの間、電気機器を過負荷及び短絡電流から保護することができないことをご説明し、電気機器に負荷をかけない適正な使用と、入荷後の早急な改修をお願いしました。

▼高圧真空遮断器



▼1次側(R相)からの表面リーク痕



■技術者からのワンポイントアドバイス

高圧真空遮断器は、過負荷及び短絡電流から電気機器を保護し、事故の影響拡大防止を担う、電気を安全に使う上では欠かせない電気設備の一つです。電気設備は消耗品ですので、計画的な更新をお願いします。

江差事業所
奥平 涼太